年間授業計画

第四商業高等学校 （3学年用）

教科：　商業　　**科目　ビジネス法規**　　単位数：　２　単位

◆対象学年組：第 3 学年　A 組～E組

◆使用教科書 （ ビジネス法規　実教出版　）

◆教科　商業　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】： 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】： ビジネスに関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】： 職業人として必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【 知 識 及 び 技 能 】： ビジネスを適切に行うための法のついて体系的・系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】： ビジネスを円滑に行うことができるようにするため、経済のグローバル化、情報化・サービスの多様化、規制緩和など経済環境の変化に伴って法規の改正などが行われている現状について学び、ビジネスに関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】： 具体的な事例と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組み、職業人として必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

◆科目　ビジネス法規　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
法規実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つ、法律に関する基礎的な知識と技術を身に付けている。また、	ビジネスを円滑に行うことができるようにするため、経済のグローバル化、情報化・サービスの多様化、規制緩和など経済環境の変化に伴って法規の改正などが行われている現状について学び、ビジネスに関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。	具体的な事例と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組み、職業人として必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	法の概要 ・ビジネスにおける法の役割	・ビジネスを適切に行うための法の役割について理解する。 ・ビジネスを円滑に行うことができるようにするため、経済のグローバル化、情報化・サービスの多様化、規制緩和など経済環境の変化に伴って法規の改正などが行われている現状について学び、具体的な事例と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。	・ビジネスを適切に行うための法の役割について理解する。 ・ビジネスを円滑に行うことができるようにするため、経済のグローバル化、情報化・サービスの多様化、規制緩和など経済環境の変化に伴って法規の改正などが行われている現状について学び、具体的な事例と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組んでいる。	○			1
	・法の体系と解釈理解	・法が憲法を最高法規として体系的に存在していること、一般法、特別法、公法、私法など法の分類及び法の解釈と適用の考え方について扱う。	・法が憲法を最高法規として体系的に存在していること、一般法、特別法、公法、私法など法の分類及び法の解釈と適用の考え方について自ら学び、法規に基づく適切なビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。		○	○	2
	権利・義務と財産権 ・権利・義務とその主体 ・物と財産、債権	・権利・義務の概要、権利行使の制限及び物権、債権など財産権の概要について、法規と関連付けて理解する。	・権利・義務の概要、権利行使の制限及び物権、債権など財産権の概要について、法規と関連付けて見いだしている。	○	○		3
	中間考査			○			1
	答案指導	答案返却		○		○	1
	・知的財産権	・特許権、実用新案権、育成者権、回路配置利用権、不正競争防止法による保護、デザインやマークなどに関する知的財産権である意匠権、商標権など知的財産の種類とその権利について、法規と関連付けて理解する。 ・知的財産権が侵害されたときの対抗手段について扱い、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。 ・国際競争力の強化とビジネスを持続的に展開する際の知的財産の保護と活用の重要性及び知的財産の保護と活用に関する課題を発見し、それを踏まえ法的根拠に基づいて知的財産を保護し活用したビジネスの現状について学ぶ。	・特許権、実用新案権、育成者権、回路配置利用権、不正競争防止法による保護、デザインやマークなどに関する知的財産権である意匠権、商標権など知的財産の種類とその権利について、法規と関連付けて見いだしている。 ・知的財産権が侵害されたときの対抗手段について扱い、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に自ら学び、法規に基づく適切なビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ・国際競争力の強化とビジネスを持続的に展開する際の知的財産の保護と活用の重要性及び知的財産の保護と活用に関する課題を発見し、それを踏まえ法的根拠に基づいて知的財産を保護し活用する方策を考察して実施し評価・改善している。	○	○	○	9
	期末考査			○	○	○	1
	答案指導	答案返却		○	○	○	1
2学期	財産権の変動 ・契約	・企業活動に係る契約全般について、また物の売買、賃貸についての企業における事例と関連付けて理解する。	・企業活動に係る契約全般について、また物の売買、賃貸についての企業における事例と関連付けて見いだしている。 ・企業活動に関する契約全般について、また物の売買、賃貸についての課題などを発見し、法的な根拠に基づいて、その課題への対応策を考案し、評価・改善している。 ・売買契約、不動産賃貸契約など企業活動における契約について、具体的な事例を用いて、自ら学び、法規に基づく適切な企業活動に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	5
	・物の売買	・契約し当事者の権利・義務関係について。企業活動における具体的な事例を用いて、法規と関連付けて理解する。	・企業活動に関する契約全般について、また物の売買、賃貸についての課題などを発見し、法的な根拠に基づいて、その課題への対応策を考案し、評価・改善している。	○	○	○	4
	期末考査			○	○	○	1
	答案指導	答案返却		○	○	○	1
	・物の貸借	・売買契約、不動産賃貸契約など企業活動における契約について、具体的な事例を用いて、規と関連付けて理解する。	・売買契約、不動産賃貸契約など企業活動における契約について、具体的な事例を用いて、自ら学び、法規に基づく適切な企業活動に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	5
	財産権の変動 ・不法行為	・契約当事者の不法行為や時効の各関係について、企業活動における具体的な事例を用いて、法規と関係付けて理解する。	・企業活動に関する不法行為や時効の課題などを発見し、法的な根拠に基づいて、その課題への対応策を考案し、評価・改善している。	○	○		2
	・時効		・不法行為や時効など、具体的な事例を用いて、自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。			○	1
	企業活動と法規 ・企業活動の主体	・企業活動の主体とその商行為の概要について理解する。	・企業活動の主体とその商行為の概要について，商法との関連付けで理解している。	○	○		1
	・株式会社の特徴と機関	・株式会社の意義、株主の責任、株式の譲渡、資本と経営の分離及び株式会社の機関とその責任について法規と関連付けて理解する。	・株式会社の意義、株主の責任、株式の譲渡、資本と経営の分離及び株式会社の機関とその責任について、法規との関連付けで理解している。	○	○		5
			・企業活動に係る法規ついて、株式会社における事例と関連付けて見いだしている。			○	
			・企業活動に関する課題を発見し、法的な根拠に基づいて、課題への対応策を考察して実施し、評価・改善している。			○	
			・企業活動に係る法規について自ら学び、法規に基づく適切な企業活動に主体的かつ協働的に取り組んでいる。			○	
	・資金調達と金融取引	・株式と社債の発行、金融機関からの借入及び金融商品取引法の概要について理解する。	・株式と社債の発行、金融機関からの借入及び金融商品取引法の概要について理解している。				4
		・資金の調達や運用と金融取引の現状・課題及び金融に関するセーフティーネットについて学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。	・資金の調達や運用と金融取引の現状・課題及び金融に関するセーフティーネットについて学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組んでいる。		○	○	
		・電子記録媒体の概要及び電子資金移動の現状・課題について理解する。	・電子記録媒体の概要及び電子資金移動の現状・課題について理解している。				
	・組織再編と生産・債権	・組織再編の形態について理解する。	組織再編の形態について理解している	○			3
		・日本における企業の組織再編と清算・再建の現状・課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動を理解する。	・日本における企業の組織再編と清算・再建の現状・課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組んでいる。		○	○	
	・競争秩序の確保	・競争秩序を確保する意義及びそのための企業活動の制限について、法規と関連付けて理解する。	・競争秩序を確保する意義及びそのための企業活動の制限について、法規と関連付けて理解している。				3
		・競争秩序の確保の現状・課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。	・競争秩序の確保の現状・課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組んでいる。		○	○	
	企業責任と法規 。法令遵守と説明責任	・法令遵守（コンプライアンス）と説明責任（アカウンタビリティ）の意義と重要性について学び、具体的な事例と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。	・法令遵守（コンプライアンス）と説明責任（アカウンタビリティ）の意義と重要性について学び、具体的な事例と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組んでいる。		○	○	3
		・企業統治（コーポレート・ガバナンス）の意義と重要性について学び、具体的な事例と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。	・企業統治（コーポレート・ガバナンス）の意義と重要性について学び、具体的な事例と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組んでいる		○	○	
	・労働者の保護	・労働三権の概要及び労働三法、労働者派遣法など労働者の権利の保護に関する法規の概要について理解する。	・労働三権の概要及び労働三法、労働者派遣法など労働者の権利の保護に関する法規の概要について理解している。	○	○		3
		・労働時間、休日、休暇、就業規則及び労働災害に関する規定と考え方について扱う。	・労働時間、休日、休暇、就業規則及び労働災害に関する規定と考え方について理解している。		○	○	
		・労働者の保護の重要性及び日本における労働者の保護に関する課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。	・労働者の保護の重要性及び日本における労働者の保護に関する課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組んでいる。		○	○	
	期末考査			○	○	○	1
	答案指導	答案返却		○	○	○	1
3学期	・消費者の保護	・消費者基本法、消費者契約法、不当景品類及び不当表示防止法、特定商取引法など消費者の保護に関する法規の概要について理解する。	・消費者基本法、消費者契約法、不当景品類及び不当表示防止法、特定商取引法など消費者の保護に関する法規の概要について理解している。	○	○		3
		・企業活動を展開する際の消費者の保護の重要性及び日本における消費者の保護の重要性及び日本における消費者の保護に関する課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。	・企業活動を展開する際の消費者の保護の重要性及び日本における消費者の保護の重要性及び日本における消費者の保護に関する課題について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組んでいる。			○	
	・情報の保護	・個人情報保護法、不正アクセス禁止法、不正競争防止法など企業が扱う情報の保護に関係する法規の概要について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組む。	・個人情報保護法、不正アクセス禁止法、不正競争防止法など企業が扱う情報の保護に関係する法規の概要について学び、具体的な事例を用いて、法規と関連付けて分析し、考察する学習活動に取り組んでいる。	○	○		3
	期末考査			○	○	○	1
	答案指導	答案返却		○	○	○	1
						合計	70